

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

心理状態の客観的把握とフィードバック手法の確立による生きがい・働きがいのある社会の実現

3. 研究開発課題名

QOL計測とハートフルネス実践による食体験共創システム

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

中村 裕一(京都大学学術情報メディアセンター 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、QOL計測とハートフルネス実践による食体験共創システムを目指すものである。

探索研究期間では、通信を介した共同調理・共食が可能なシェアダイニングブースを設計・試作し、地域の高齢者を被験者としてモニタリング機能やフィードバック機能の有効性を実証したことを評価する。

また、モニタリングについては、スマートフォンなどを用いたインタビューに基づいて経時的変化の追跡を可能とする手法の効果を確認するなど、優れた成果が認められた。フィードバックについては、参加者の動作、情動、生理的な状態を音や光などの刺激として提示する仕組みを提案しその効果を実証するなど、優れた成果が認められた。

今後はより多くの参加者が食体験を享受できるシステムに向けて研究開発が発展することを期待する。

以上